



株主の皆様へ

第65期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のもののづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR/コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第65期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果もあり、設備投資の持ち直しや雇用環境の改善が見られるなど、景気はゆるやかな回復基調で推移しました。一方、東アジアの地政学的リスクの高まりや新興国の景気の下振れ懸念などの影響により先行きに対する不透明な状況が継続しており、節約志向が強い個人消費の回復も振るわず企業収益は足踏み状態で推移しました。

当住宅関連業界におきましては、低金利の住宅ローンと政府による継続的な住宅取得支援策等の効果などにより新設住宅着工戸数は堅調に推移しました。

このような状況の中で、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用関連会社)は、国内市場においては主要製品のシェア拡大、新製品・重点拡販製品のPR活動やリフォーム・非住宅市場への参入に引き続き注力するとともに、賃貸住宅に対する受注拡大を目標に掲げております。また、当社は創業75周年を迎え、主力となる収納商品のトータルブランドコンセプトとして「収納生活」を立ち上げ、更に当社の収納商品をより身近にご提案・ご体験いただけるよう、需要が多く見込まれる東京神田にショールームをオープンいたしました。玄関スペースをはじめ、リビング・水まわりからプライベートルームまで、生活動線を快適にする収納プランやインテリア性を高めた収納製品の展示、機能やサイズなど身近に実感できる体験コーナーを常設しております。施工業者様や流通業者様、また定期的にお施主様にもご案内を実施しており、当社商品に触れていただく機会をこれまでに増してご提供させていただく所存であります。

一方で海外市場においては、フランス子会社の業績低迷が続いており、成熟した合板市場での激しい価格競争の中、生産量の増加を目指した工程改善の取り組みや値上げ交渉に加え、インドネシアの子会社で製造している建築資材の欧州販路開拓等を試みておりますが、経営を取り巻く環境は非常に厳しく黒字化には想定外の期間を要しております。

電線関連事業におきましては、地方における電材業界に寄与する物件の新設は緩やかに持ち直しているものの、引き続き、資材価格は高止まりしており、激しい価格競争も継続しております。そのためこれまでの収益力の高い商品中心の営業展開のみでなく、電線をはじめとした近年低迷してきた商品等の販売を、改めて強化し物件当たりの収益力向上に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結結果計期間の売上高は8,712百万円(前年同四半期比7.6%増)、営業利益は464百万円(前年同四半期は営業利益17百万円)、経常利益は721百万円(前年同四半期は経常損失753百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は418百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失678百万円)となりました。

当社グループといたしましては、今後も皆様のご期待に応えるべく、経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応し、グループの目標達成に向けて全社員一丸となって取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

+++ INNOVATION NEWS

75
Anniversaryおかげさまで
創業75周年

2017年10月 南海プライウッドは創業75周年。

皆様方の永年のご愛顧を持ちまして、創業75周年を迎えることができました。私たちはこの大きな節目を機に、これからの25年・創業100周年に向けて、志も新たに「収納生活」というトータルブランドコンセプトを立ち上げました。新たな時代。次なる時代。皆様が暮らしやすい住環境を生む製品創りを心がけ、NANKAIは快適な収納生活をご提案していきます。

2017 SUMMER
EXHIBITION

お客様主催の大型展示会に出展。
「収納生活」を全面にPRしました。

8月25・26日、東京で開催された建材フェアに出展。プロモーションの一貫として「収納生活」を打ち出し「収納の南海」を強くアピール。

ご来場のお客様の関心も高く、トータル収納メーカーとしてのポジショニングを印象づけることができました。



+++ INNOVATION NEWS



**TOKYO
SHOWROOM
OPEN**

関東圏で「収納の南海」をプロモーション。 東京ショールームを新たにオープンしました。

関東一円のターゲットを対象に、シェア拡大と「収納生活」を基軸とした「収納の南海」を確立することを目的に、アクセスが容易で販売実績の高い東京を拠点とし、千代田区神田に8月21日「東京ショールーム」をオープンさせました。

業界関係者はもとより、ホームページを通じ一般のお施主様からのお問い合わせもあり、収納プラン提案や細かい製品構造を、実際に見て体感できる施設として評価を得ています。



BRAND NEW PRODUCT 2017

時代に対応したニュープロダクト。収納製品以外にも南海イノベーション。



NEW RELEASE



ALUFEEL

アルミ製オープン階段
[アルフィール]

従来のアルミ製オープン階段「ルミスト」に加え、施工性と安全性が高い横桁構造の「アルフィール」をニューリリース。

ニーズを反映した、新たなデザインとバリュー機能を付加して新開発。
新仕様階段の投入で、市場の活性化に努めています。



NEW RELEASE



ART FLOOR 12mm厚 LARGE SERIES

アートフロア ラルジュシリーズ
[石目調柄]

クールで清潔感のある石目調フロア。
水廻りでの使用を意識したブリリアント
ホワイト／ピエールベージュ／
サンドブラックの3柄をニューリリース。
従来の木目調柄のラインナップに加え、
新たなテクスチャーの投入で、製品充実化と
市場拡大を図っています。

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成29年9月30日)
■資産の部		
流動資産	12,375	13,332
現金及び預金	2,653	3,491
受取手形及び売掛金	3,719	3,311
電子記録債権	1,633	2,246
商品及び製品	897	800
仕掛品	871	808
原材料及び貯蔵品	1,947	2,066
繰延税金資産	162	162
その他	494	446
貸倒引当金	△3	△3
固定資産	9,342	9,336
有形固定資産	7,014	6,975
建物及び構築物	1,376	1,351
機械装置及び運搬具	1,419	1,504
工具器具備品	37	37
土地	4,032	4,020
建設仮勘定	114	28
その他	33	33
無形固定資産	81	73
投資その他の資産	2,246	2,287
投資有価証券	691	764
長期貸付金	129	150
繰延税金資産	16	15
投資不動産	994	942
退職給付に係る資産	4	—
その他	415	420
貸倒引当金	△5	△5
資産合計	21,717	22,669

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成29年9月30日)
■負債の部		
流動負債	3,778	4,540
支払手形及び買掛金	869	1,036
短期借入金	1,367	2,121
未払金	384	371
未払費用	132	145
未払法人税等	263	337
未払消費税等	200	118
賞与引当金	235	217
デリバティブ債務	232	45
その他	92	146
固定負債	675	570
長期借入金	398	268
繰延税金負債	57	69
役員退職慰労引当金	9	9
退職給付に係る負債	177	192
その他	31	30
負債合計	4,454	5,111
■純資産の部		
株主資本	16,962	17,303
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	13,110	13,452
自己株式	△135	△135
その他の包括利益累計額	301	254
その他有価証券評価差額金	96	147
為替換算調整勘定	211	106
退職給付に係る調整累計額	△7	0
純資産合計	17,263	17,558
負債純資産合計	21,717	22,669

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日
売上高	8,098	8,712
売上原価	5,946	6,037
売上総利益	2,152	2,675
販売費及び一般管理費	2,134	2,211
営業利益	17	464
営業外収益	114	304
営業外費用	886	47
経常利益又は経常損失(△)	△753	721
特別利益	20	11
特別損失	17	18
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△751	715
法人税等	△72	297
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△678	418

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

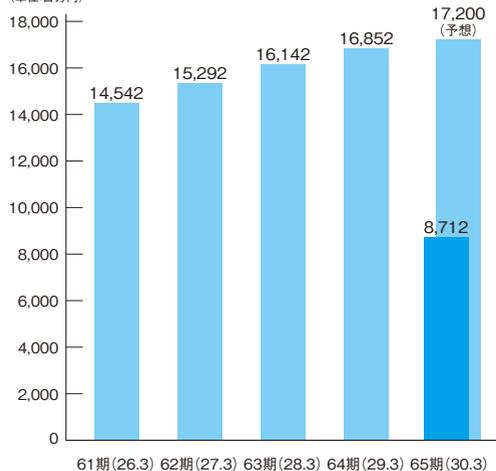
	前第2四半期 連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	393	546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526	305
財務活動によるキャッシュ・フロー	818	485
現金及び現金同等物に係る換算差額	△303	△50
現金及び現金同等物の増減額	382	1,287
現金及び現金同等物の期首残高	1,998	2,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,381	3,435

■ 損益ポイント

建材事業において、主力商品である収納材の売行きが好調であり、売上高は前第2四半期比で7.6ポイント増加。過去最高の業績となりました。営業利益、経常利益についても大幅に改善しました。

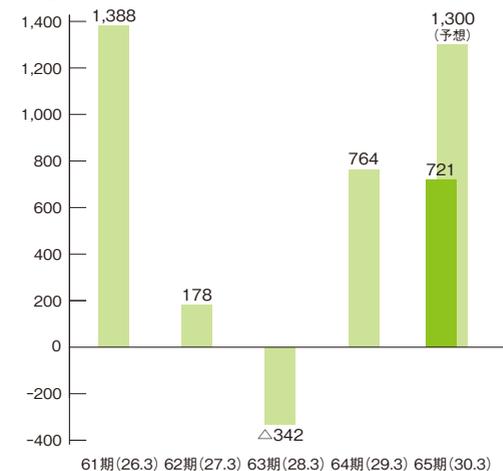
▽ 売上高の推移

(単位:百万円)



▽ 経常利益の推移

(単位:百万円)



当第2四半期累計期間の概況

木材関連事業におきましては、主要製品のシェア拡大、新製品・重点拡販製品のPR活動やリフォーム・非住宅市場への参入に引き続き注力するとともに、賃貸住宅に対する受注拡大を目標に掲げております。また、当社は創業75周年を迎え、主力となる収納商品のトータルブランドコンセプトとして「収納生活」を立ち上げ、さらに当社の収納製品をより身近にご提案・ご体験いただけるよう、東京神田に体験コーナーを常設したショールームをオープンいたしました。

電線関連事業におきましては、電材業界に寄与する物件の新設は緩やかに持ち直しているものの、引き続き、資材価格は高止まりしており、激しい価格競争も継続しております。これまでの収益力の高い商品中心の営業展開のみでなく、電線をはじめとした近年低迷してきた商品等の販売を改めて強化し、物件当たりの収益力向上に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,712百万円(前年同四半期比7.6%増)、営業利益は464百万円(前年同四半期は営業利益17百万円)、経常利益は721百万円(前年同四半期は経常損失753百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は418百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失678百万円)となりました。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注)売上高は、単体の売上高であります。

通期の見通し

(木材関連事業)

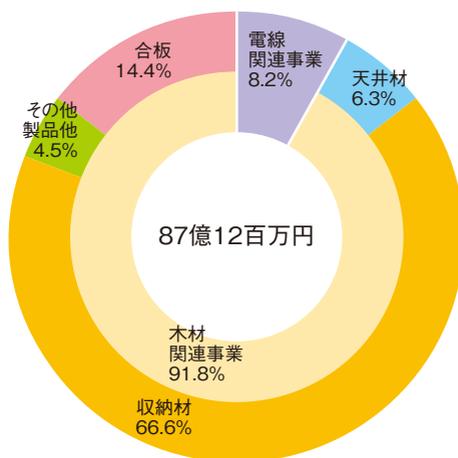
住宅取得需要は、今後も概ね堅調に推移するものと予想され、引続き収納材を中心とする新製品の生産販売に力を注ぎ、リフォーム市場・非住宅市場への販路拡大に取り組みとともに生産体制の充実を図ることで収益の確保に努めてまいります。この結果、当セグメントの業績は、売上高15,920百万円(前年同期比2.1%増)、セグメント利益1,066百万円(前年同期比61.6%増)になるものと予想しております。

(電線関連事業)

四国地方の電材業界におきましては、厳しい経営環境が継続するものと予想され、引続き競争思考型の価格戦略による営業展開やセールスマックスの改善等に取り組み、収益力の向上に努めてまいります。この結果、当セグメントの業績は、売上高1,280百万円(前年同期比1.8%増)、セグメント利益34百万円(前年同期比79.1%増)になるものと予想しております。

通期の連結業績は、売上高17,200百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益1,100百万円(前年同期比61.6%増)、経常利益1,300百万円(前年同期比70.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円(前年同期比79.2%増)になるものと予想しております。

▼セグメント別の連結売上高構成(連結)



株式の状況

(平成29年9月30日現在)

総数

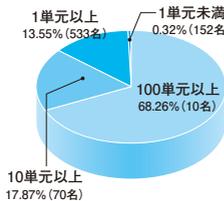
発行可能株式総数	20,000,000株
<small>(平成29年10月1日より2,000,000株に変更)</small>	
発行済株式の総数	10,095,800株
<small>(平成29年10月1日より1,009,580株に変更)</small>	
株主数	765名(前年度末比21名増)

大株主

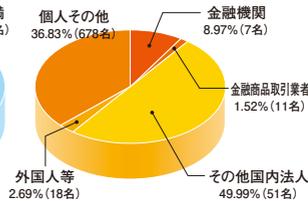
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,753千株	28.45%
公益財団法人南海育英会	1,554	16.06
小林茂	504	5.21
丸山修	492	5.08
株式会社百十四銀行	467	4.83
株式会社愛媛銀行	243	2.51
四国興業株式会社	232	2.40
南海プライウッド従業員持株会楽	122	1.26
岡芳樹	100	1.03
INTERACTIVE BROKERS LLC	87	0.90

注1. 当社は自己株式421,642株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出してあります。
 2. 平成29年10月1日を効力発生日として、当社普通株式10株を1株に併合しておりますが、上記持株数は、株式併合前の株式数にて記載しております。

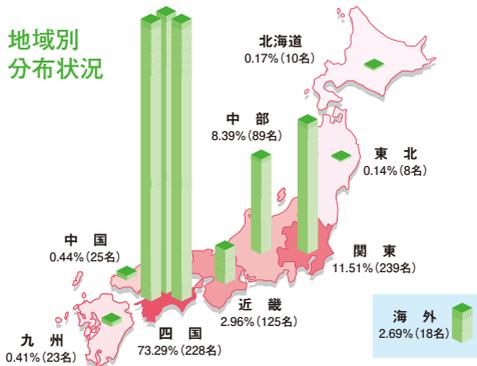
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成29年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 414名(連結1,413名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町保税倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	監査役	大川 俊徳
取締役・上席執行役員	丸山 宏	監査役	岩部 達雄
取締役・上席執行役員	藤本 英二	執行役員	小野 彰三
取締役・上席執行役員	大川 正仁	執行役員	蓮井 孝治
取締役・上席執行役員	浮田 貴仁	執行役員	松浦 義博
取締役(社外)	村田 剛	執行役員	渡邊 浩平
常勤監査役	秋山 二郎	執行役員	清水 広志

連結子会社

(平成29年9月30日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT.NANKAI INDONESIA
 NP ROLPIN SAS

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成29年9月30日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 / 定時株主総会の議決権 3月31日
 - 期末配当 3月31日
 - 中間配当 9月30日※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 / 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 / 東京証券取引所 市場第二部 (証券コード 7887)
- 単元株式数 / 1,000株 (平成29年10月1日に100株に変更)
- 株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
【郵便物送付先 / 各種お問合せ先】
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕



南海プライウッド株式会社